京城日日新聞

(大正九年七月一日第三種郵便物認可)

社説

始政滿十週年
喜ぶべきか悲むべきか

今十月一日は朝鮮併合後十一年目にして實に滿十週年なり、之を祝せんが爲、朝鮮總督府初め諸官衙、諸學校及銀行、會社に至る迄休業して祝杯を擧げんとす、此に於て吾人感慨の禁ずべからざるものあり一言無きを得ざるなり

抑今日の朝鮮を以て併合前の朝鮮に比せんか、實に隔世の感な[illegible]

是れ朝鮮統治の根本方針は破壊されたるものなり、朝鮮人同化の大理想は裏切られたるも[illegible]

[illegible]

戰後の歐米
(十七)　木村雄次

[illegible]

東京より
在京一記者

[illegible]

創作

熱光の下を
(二十)　曉谷

お前に戀人があつたことも其頃から知つてゐた。まだお前が大蔵の病院で看護婦をしてゐた時分、熱烈な戀を捧げて來た男で、今は[illegible]

[illegible]

（二）　大正九年十月一日　金曜日　京城日日新聞　第八十八號　（第三種郵便物認可）

內外電報

皇帝私有工場占領

伊太利皇帝の私有工場は勞働者の手に占領さる（羅馬來電）

英露危機迫る

露國勞農政府使節一行は倫敦を發し露國への途に就くに際し一行の倫敦退去は勞農政府が英國に宣傳の布告を爲したるに等しく勞農政府は之により亞細亞に於ける英帝國の顚覆を期し居れる事を容認せり（倫敦來電）

佛俘虜放還を強請

露國內に在る佛國俘虜全部を十月一日迄に歸國せしめざるに於ては佛國は勞農露國に對し敵對行動を執るべしとの佛國の強硬なる通牒に對し露國外務委員チチエリン氏は吾人は暴力には服するを得ずと回答をなしたり尙莫斯科よりの無線電信に依ればチチエリン氏は佛國に對し抗議し露國政府は未だ佛國の露國俘虜を歸還せしむる何等の保障を與へられずと謂へり（華盛頓來電）

日本人排斥同盟

多數團體の結合を見ん

日本移民問題は關係者に於て之を協議する爲重大の注意を拂ひ居れる旨華盛頓政府の聲明ありたるに拘らず日本の加州移民に反對し且つ今次の加州議會に於ける排日法案の施行を贊成する人々には日本人排斥同盟といふ名稱の下に多數の團體を合併して同結合を完成せしめんとするものなるが如く米國華盛頓政府が如何なる手段を執るも該人民立法權は大多數を以て可決せらるべきこと今や何人も之を疑ふ者なし該法案の可決を見る上は米國政府は已むなく或る種の解決手段を執るの餘儀なきに至らんも而も其は大統領選擧以前には完成すべしとは思はれず此の問題に關する東京電報殊に人種平等問題を國際聯盟に提出すべしと唱導する代表的日本人の聲明は非常に喧しく議論され居れり尤も米國に於ける移民問題は單に米國人以外の國民には何人も干與さる能はざる國內問題なるを以て直接國際聯盟と關係ある問題として看做され居れり（桑港來電）

神經過敏の排日派

米國排日派は內田外相の山縣老公訪問電報を聞き忽ち排日問題と結び付け之れ必ず不吉の形勢を齎すべしと見做し居れり（東京來電）

排日問題の歸着點

彼我政府の努力も無效ならん

—某消息通談—

加州排日問題に關しては目下幣原大使と國務卿コルビー氏及駐日大使モーリス氏との間に交渉中なるが我當局としては成るべく同法案が一般投票に附せられし以前に於て之を阻止すべく努力しつゝあるは勿論なるも尙之と同時に他の方法に依りて根本的解決を遂げむとしつゝあるもの如し而して今回の加州に於ける排日案なるものは大正二年制定せられたる土地法案を更に苛酷に修正せんとするものにて即ち一定の期間を限り許可せられたる借地權の獲得を禁止し又邦人の百分の五十以上の株數及人員を有する會社の土地所有及市民權を有する邦人兒童の土地所有權に對する親權並に後見人たることを禁止せんとするものにして勿論之に對しては憲法の保證を有する市民たる兒童が自己の後見人を選定する能はずとせば之明かに憲法違反にして抗議する途あるも今回の排日法案を一般投票に附せんとする眞意に想倒する時は斯る單純なる方法に依りて解決さるべくもあらず此の問題は法律的感情的實利的等の諸種の問題の錯綜するありて直ちに之を阻止することは甚だ困難なりと謂ふべく同問題は常に選擧に際し政爭の具に供せらるゝの嫌ひありて若し此趨勢の儘に委せんか斯る狀態は永久に繰返さるべく然らば同問題の解決益困難となるは必然にして此の機會に際して根本的解決をなさんとする所以なり蓋し是れが解決方法に關しては旣に大正二年土地法案の制定されし當時に交渉の餘儀なきに至り更に大正三年八月に至り該交渉を復活し機會ある毎に折衝を遂げつゝありたるが今回の加州排日問題の勃發せる漸く具體的交渉に入れるものなり其の交渉の內容及經過に關しては言明し能はざるも日本政府として最善の方法に依りて同問題の解決に努力しつゝあるは勿論にて米國政府も亦出來得る限り議會を以て此の解決を希望しつゝあるも然りと雖も米國本來の國是として中央政府の權力地方法に干與さるを許さざるものあり此の際に關しては米國政府も甚だしく憂慮しつゝありと某消息通は語り居れり（東京來電）

米蒙古に手を染む

先づ金鑛買收を手始めに

本月十五日米國鑛山技師の一行は庫倫に到着したり其用件は外蒙古に於ける金鑛を米國に於て買收するに決定したる爲にして是れが調査を爲す爲めなりと（東京來電）

大滿蒙主義の實現

張氏の宿望着々進捗

新任察哈爾都統として張景惠氏西京赴任に際し張巡閲使は其宿志たる大滿蒙主義の實現の第一歩として該都統の權限を此際大擴張を爲し外蒙古の經營一切を統轄せしむべく政府と交渉せしむるやう內命する所あり且つ新都統の爲め奉天軍一師を隨伴せしむ可く決定し居れるを以て張新都統は目下中央に於て交渉を進めつゝあるが何分政府の資力を窮乏せる際張作霖氏の要請なれば何等の名目の下に多分交渉成立し張作霖氏宿望の一端實現を見る可しと此交渉實現せむか該都統の權限は以前の西北籌邊使の權限よりも更に一層の大を爲すものにて張氏の對蒙策は大成功と言はざる可からず（奉天來電）

支那對露態度峻嚴

哈爾賓の露國々境裁判所交渉處は北京公使の命なりとて閉鎖を命ぜられ領事館は廿九日より執務せず露亞銀行も又佛國々旗を揭揚し居れりと傳へらる（長春來電）

陳軍江門砲臺占領

目下廣東及び其附近には戰鬪無く陳炯明軍は完全に江門砲臺を占領せるが廣東の諸商店は休業し多數の市民は避難せり（廣東來電）

哈府民心動搖激甚

日本軍撤退と過軍宣傳

日本軍哈府撤退宣言發表に就きニコリスク地方民心動搖甚しく或者は之を宣傳に利用し世界の赤化は日軍の撤退を餘儀なくせりとの虛報を宣傳し且つ黑龍州地方露國軍隊は冬季策戰準備整ひたる今日日軍は退却すとの虛報を弄し惡宣傳を行ひつゝあり又之れに反し或者は日軍は過軍と握手し二市を壓迫するに至るべしと捏造說を唱へ又ハ府對避難民中ハ府は冬季第二の二港なるべしと語るものあり人心著しく動搖しつゝあり（浦鹽來電）

日軍哈府撤退批評

日本軍哈府撤退宣言發表に對する浦鹽發行の各新聞は大體に於て同府撤退の實現は日露親善の促進なりと評論せるもクラスノエズナーミャは最近の社說に於て日本軍哈府撤退が日本軍艦カムチヤツカ出動に關係あるが如く臆測し同軍艦始め出動を以て警備以上の意味ある如く曲解せるが如し日本軍艦のカムチヤカ方面出動は旣に各新聞に報道せる如く同地方日本居留民と漁業の保護に任ぜしものにして哈府撤退とは全然何等の關係なきものなる事を言明せるものなりオブズソユエ紙の如きも又日本軍の哈府撤退を以て米國の絶妙なる抗議の影響なるか如く記述せし如き推斷も又甚だしき誤傳なりと云ふべし（浦鹽來電）

國際平和協會設立

委員派遣と文書にて宣傳

柏谷義三松本君平鈴木梅四郎諸氏等二十名の主唱にて國際間の平和殊に日米及び日支關係の圓滿融和を期すべく海外に宣傳委員を派遣すると同時に文書の大宣傳を目的とする國際平和協會を設立することゝなり十月一日築地精養軒にて主唱者の相談會を開催する筈なるが贊成者は大隈、濱田、床次、其他各派有力者朝野の名士二百餘名なりと（東京來電）

事業資金募集計劃

總額一億六千餘萬圓

大正十年度豫算に關しては目下大藏省主計局に於て各省提出の豫算に就て査定中なるが其豫算中公債に依る事業資金は大正九年度に比し一千七百萬圓の減少を來すべき見込となりたるも猶は九年度より十年度に跨る繼續年度割に屬するものの遂行に依り其影響は免かれざるも今後事業計畫を擧ぐれば一般特別兩會計を通じて一億六千八百四十三萬九千圓なるが其の內譯左の如し（東京來電）

一、電信事業公債	二、五七六、〇〇〇
一、電話事業公債	三四、四〇〇、〇〇〇
一、朝鮮事業同	二一、五七六、〇〇〇
一、臺灣同	九、〇二七、〇〇〇
一、樺太同	二、七七七、〇〇〇
一、帝國鐵道同	八〇、〇〇〇、〇〇〇
一、學校建設同	六、〇〇〇、〇〇〇
一、道路改良同	四、〇〇〇、〇〇〇
合計	一六八、四三八、〇〇〇

奉天三旅編成

豫て開催されたる東三省軍事會議に於て三個旅新設と決定せしも張氏は遽に之を變更して三旅編成と爲し第一旅長として劉翔閣第二旅長には楊瀚雨第三旅長としては穆子錚夫々任命さる可く決定せりと（奉天來電）

顧氏駐米公使

廿八日閣議の結果顧維鈞氏を駐米公使に任命の件及び司法部より提出せる東支鐵道司法權を回收する件を可決せり（北京來電）

隈侯奮起

加州排日問題は大統領選擧期日の切迫と共に益形勢の惡化を見つゝあるに就き大隈侯も此の際慨然奮起し近く代議士中野正剛氏を世話役として有力なる政治家、實業家、學者外交官凡そ二百餘名を自邸に招して同問題に關する公開的懇話會を催して餘りに冷淡なる國民の志氣を鼓舞すると同時に與論の喚起に盡す計畫中である又早稻田大學にても同問題に對する學生等の大講演會を催す筈なりと（東京來電）

大演習

幹部決定

今週擧行さるべき陸軍特別大演習兩軍指揮官參謀長等は豫て參謀本部に於て人選中なりしが愈左の如く決定したるを以て近く上奏裁可を仰ぎ勅命せらるる筈なり（東京來電）

北軍司令官　陸軍大將　本郷房太郎
參謀長　同　少將　岡村長太郎
南軍司令官　軍事參議官　松川敏胤
參謀長　陸軍少將　山田良之助
統監參謀總長　同　大將　上原勇作
參謀次長　同　中將　福田雅太郎
同第一部長　同　少將　金谷範三

樞府會議開催

二十九日午前十時より樞密院會議を開會し東京都官制中改正の件其他可決さる（東京來電）

定期叙勳發表

二十九日定期叙勳發表陸軍大將以下百七名に對し定期叙勳の御沙汰ありたり主なるもの左の如し（東京來電）

陸軍大將從三位勳二等功三級　立花小一郎
叙勳一等授瑞寶章（以下略す）

重要問題討議

國際財政會議は二十七日より重要問題の討議に入れる旨我委員より報告ありたり（ブラッセル發）

古賀長官動靜

古賀拓殖局長官一行は廿九日午後九時廿五分着列車にて來元直に府廳樓上にて官民の歡迎會に臨み卅日各所の視察を爲せり（元山來電）

石塚氏支那漫遊

石塚東拓總裁は三十日午後五時廿分東京驛發滿鮮支那旅行の途に上るが旅程は約四十日間にて京城に五六日間滯在す可しと（東京來電）

宣教師に對する當局所見と希望（上）

柴田學務局長

去る二十八日より西大門外神學校に於て開催し全鮮の宣教師約百五十名の參會者あり種々の協議を爲せるが三十日を以て總べて終了したれば總督府よりは柴田學務局長臨席し左の演述をなしたり

昨年九月宣教師聯合大會は總督の命に依り施政の方針を諸氏に傳へ又諸氏より腹藏なき意見の提出を求むる所ありしが今や正に一年再び聯合大會に於て當局の所見を述ぶるの機會を得たるを悅ぶ

新施政 の方針に就ては當局より宣明したる所により大體諸氏の諒知せらるゝことゝ信ず爾來當局は一ケ年間此方針を實現せんかために力を致し其直に實行し得べきものは之を實行し法令の改廢に俟つべきものは之を改廢し豫算を要するものは新に豫算を議會に要求する等夫々方法を盡し今や曩に宣明したる事項にして全く着手せざるものは殆と是なきに至れり而して之が爲め大正八年度に於て約七千萬圓なりし朝鮮總督府の豫算は大正九年度に於て一躍して一億二千萬圓を超過し其內特に宣明せる事項への實行に要せるもの新規計畫の經費のみにて約二千八百萬圓を算するに至れり又之が爲め

法令の 改廢せられたるもの實に百五十件に上れり過去一年間に實行し來れる施政改善の大要は朝鮮に於ける新施政なる小冊子に取纏め近く刊行せらるゝ筈なれば諸氏は之に就て諒知せられんことを望む

諸氏か平素直接間接に關係せらるゝ宗教、教育、醫療、其他社會各般の問題に付いて總督府の施政に對し希望せらるゝ所は固より多々あるべし特に先般諸氏より提出せられたる聯合大會の陳情書は諸氏の平素抱懷せらるゝ所を最も腹藏なく陳述せられたるものと見るべく此の意味に於て當局は多大の

注意を 以て之を査閲したるが其の所說の大綱が文化政治の施行內鮮人の差別撤廢民衆福利の增進及び官廳事務の簡捷等當局の施政の方針として旣に宣明したる所と大體に於て一致したるは當局の私に本懷とせし所なり而して一ケ年の時日を經過して再び此に諸氏の提出せられたる意見中諸氏の希望に從ひて改善せられたるもの甚だ多く就中私立學校規則の改正、布教規則の改正、宗教法人の許可、朝鮮文新聞の發刊等其主要なる事項の殆と解決せられたるは當局の殆も

滿足こ する所にして諸氏も亦必ずや當局と悅びを共にせらるへきを信して疑はず當局は今後と雖も諸氏の意見にして苟も其採用するに吝ならざることを玆に言明す然れども固より多くの希望事項中には本府の見る所諸氏と見解を異にして其の意見の容れ難きもの及び諸氏の意見其者か諸氏の誤解に基けりと認むべきもの亦必ずしもなしとせず故に機會に於て諸氏の提出せられたる陳情書に關聯して進んで當局の

所見こ 希望とを述べ以て諸氏の參考に供するは今後相互の圓滿なる諒解を得るに於て極めて必要なりと信し左に一言する所あらんとす

始政十年の回顧

目覺しき民度の發達と一貫せる朝鮮統治方針

水野政務總監談

朝鮮十年の統治に對しては種々の批評は免れ難きも十年統治の効果が十年前に比して目覺ましき開發進步を示せることは何人と雖も之を否定し得ない事であらう、產業にまれ教育にまれ總ゆる方面に於て隔世の感がある產業に於ては十年前僅に

一億內外 であつたものが現在に於ては十二億以上に達し六億以上の發展を數字の上にも示してゐる、更に水田の如きも甚だしく開拓され米に於ても農業に於ても長足の進步を來してゐる、殊に道路の如きは——兎角の批評はあるけれ共——全鮮殆ど自動車の通ぜさる所はない有樣で交通の上より見て決して日本內地に劣らないのみか

寧ろ內地 の惡道路の如きは之が及ばざるものがある、林業の如きは之が爲に甚だしく發達し盛大に趣いたかくて外面に於ける產業、交通の發達は朝鮮人に富を與へ、從來の悲慘なる境遇より離脫せしめ幸福を與へたことは爭はれぬ事實である米國實業家某氏の如きは日本に九度朝鮮にも三回迄も來遊せる人であるが、過日

來鮮巡遊 の際新義州より電報を寄せて朝鮮の發展の目覺しきに驚きたりと旣に激賞した位である是は決してお世辭ではなく米國人のみならず何人も此點は認め得る事である、試みに寫眞機を開いて見ると、十年前の郵便脚夫の如きは非活動的の服裝で例の長煙管を啣へた悠長なものである學校即ち教育の方面に於ても亦然り其不完全なる

寺小屋式 教育をして現在今日の域に迄達せしめたる事は十年間統治の結果である、然るに朝鮮人中には此幸福を增進し開發の事業の恩惠を忘れて不逞の思想を抱く者が絶えないことは甚だ遺憾とすべきことである、元より是等の不逞の徒輩に對しては一歩も假貸せず秋霜烈日の斷固たる方針を以て當るべく、此事は寺內總督と長谷川總督と齋藤總督とを問はず旣に併合の主旨に於て

一定不拔 の方針である、齋藤總督の政治と現總督の政治とは別個の形として考へる者もあるが其根本は決して異る道理がない今後に於ても時代の推移と變遷に從ひ自然手段と方法の形は變化しやうとも此根本方針は決して動くべきものではない、今後も朝鮮統治上に於て總ゆる方面の改善を要する事は云ふ迄もないが是には日本人

全體の力 を以て當らなくてはならないのである。要するに朝鮮統治の十年間は尠少ならざる功果を納め結果を擧げて居る事は疑ひなき事實である、何れの國に於ても僅々十ケ年の統治を以て完全なる理想的の功果を擧げ得ない事は止むを得ざることゝ云はねばならぬ。

朝鮮金鑛現況（二）

黑木殖產局鑛務課長談

其の他運賃に就ては鐵道輸送によるのは大貨物取扱中最低廉なる四級品賃率の適用を受けておる從て鐵路輸送のみならば大に負擔は輕き譯であるが何分鐵道の未だ普及しない今日鐵道輸送の便を有する鑛山少くとも鐵路のみに依る得る鑛山の少いので勢

人肩馬脊 によらなければならない從て運賃の嵩むのは止むを得ない結局運賃の低下は如何とも仕難い此運賃の低下は交通機關の整備に待つ外はないが本府か道路の敷設改良鐵道の新設に多大の努力を爲て居ることは周知の事實である、夫かれ稅金の免除による生產費の低減であるが之は鑛產稅に付ては旣に大正六年末に法令を改正して大正七年度分から之を免除してある鑛區稅は免除してないが一鑛區稅は千坪に付一ケ年六十錢にして平均一鑛區四千五百坪位であるから一ケ年二百七十圓に過ぎない從つて實際採鑛するものには殆ど痛痒を感しないが唯朝鮮では

試掘制度 を認めてないから試掘期間の鑛區稅は內地に比し重く又採掘着手せるものと鑛產金額極めて少いものにとつては可なり大なる負擔となると思ふ依て此の點に付ては考慮を煩らしてをるもので未だ實施の運びに至つて居らないが早晚誠實なる企業家の爲に有利に解決したいと考へて居る以上生產費の低減と密接なる關係あるものは企業組織の如何と技術の應用如何である朝鮮の鑛山には未だ大規模の經營をしてをるものは數ふる程で大多數は極小規模のものである之は大正七年の調で金山百五十四の內で

就業人別 にすると就業人員五十人以下のものが百三十人百人以下のものが十四、二百人以下のものが六二百人以上のものが六である、又機械を使用してをるか否かに由つて分けて見ると機械を有するものが四十六で無いものが百〇八である之で大體の趨勢は判斷し得られる企業組織は大鑛山の狀況に依つて定むへきものなることは勿論であるか中には企業の規模が鑛山の狀態に伴はないものか少くない之等は色々の事情もあらうが何とか改善の途はないかとも思はれるし且又小鑛山は企業組合の樣な組織をも試みて資金の融通なり材料の購入なりに便宜を得る考案はなからうかと之れ等の點にも研究は進めて居るが未だ決定的の考案に到達してゐない

技術應用 に就ても少數の鑛山を除いては舊來の方法を踏襲するに止まつてをる大正七年の調であるが採掘の方では金山一五四の內で機械を使用するもの四十六で機械を使用しないものが百〇八となつてゐる製鍊の方では七十五ケ所の內洋式のものが八（內四は外人）稍進步せる土法によるものが二十四で全く土法によるものか四、である、更に鑛業技術員に付いて大正八年各種鑛山に就て調べたものによると百八十八鑛山中技術者を有するものが六十三で其他は總て技術者を有しない右の六十三鑛山に居る

技術者數 は百二十八人で之れが大學出か七人高工出か一九人、鑛業學校出が十一人學歷なきもの六十九人外に外國人四人と云ふ數になつてをる之に依つて見ると我朝鮮の鑛業界は如何に最新の技術が利用されて居ないかが判る此の技術の應用と云ふことは生產費低減の上にも至大の關係があるので當業者に技術員の採用を慫慂するの外本府に之が指導の技術員を置き出來得る限り指導に力めて居るが更に人員の增加と指導方法の改善を研究して居る

府面協議員資格

府面協議會員選擧資格要件たる府稅又は面賦課金指定の件は朝鮮總督府告示第二百四十二號として十月一日の官報を以て公布せらるべし

辭令（九月廿九日附）

朝鮮總督府事務官　柿原琢郞
法務局刑事課長を命ず

米作豫想

著しく增收

本年の水稻作は挿秧期に於て旱天連續したる爲一般を通じて挿秧遲延したるも其後潤澤なる降雨ありて作付著しく增加したると一面生育期に於ける天候相當順調なりしとに依り一部各地に水害ありたるにも拘らず大體に於て良好なる作柄を示せり九月廿三日（秋分日）現在の作況に徵するに其收穫豫想高一千五百五十七萬二千四百二石にして之を旱害甚だしかりし前年の收穫高に比すれば二割二步四厘、尙大正七年の收穫に比すれば二步七厘の增收なり左に前年收穫高に比する增減收步合並に作況を揭ぐ。

前年收穫高に對する增減收步合並作況概要（△印減を示す）

道別	步合	生育概況
京畿	七、〇三	良好
忠北	三、〇四	同
忠南	五、一四	同
全北	〇、三〇	同
全南	△〇、七九	稍不良
慶北	〇、六二	良好
慶南	〇、九七	不良
黃海	二、一二	良好
平南	一六、〇〇	同
平北	七、九九	同
江原	一、九四	同
咸南	三、一六	同
咸北	三、三三	同
平均	二、二四	同

朝鮮產業鐵道株式會社解散說に就て

頃日朝新と京日とに朝鮮產業鐵道株式會社の解散說傳へられたるを以て該會社の幹部と目下入京中の東拓理事人見氏等に就て其の實否を質せしに該會社の幹部は斷じて左樣のことは無しと明言し、人見理事もそんな事は知らずと眞面目に打ち消せり尤も此解散說の出でしには原因がある京城に居る某々（暫く姓名を秘す）株主が金融逼迫の折柄朝鮮興業株式會社の解散に依りて株金の返還を受けたるに味を占め產鐵をも解散せしめて其株金の返還を受け金融逼迫の苦痛を免れん魂膽より解散說を流布すると共に株を株主間に飛ばして解散派の誘引に力め、半數以上に達せば臨時總會を招かしめ、其席にて解散案を通過して成立せしめん計畫なり、若し此運動にして成立せば解散說成立するやも計り難きも、若し然る如きことあらんか、折角着手されんとせし朝鮮南北聯絡の鐵道三百哩の布設案は挫折し、朝鮮交通機關と朝鮮事業界の爲めに最も痛むべきことなりと語るものあり、暫らく記して成り行きを觀望す。

東亞法政新聞發刊

在京法曹界の白眉たる辯護士朝倉外茂鐵氏は今回京城明治町一町目に本社を設け東亞法政新聞を起し二十八日第一號を發刊す同紙は小形新聞にして第一號紙上には總督政務總監中樞文相大隈侯其他朝野名士多數の祝文を揭載せり

始政滿十周年

諸官衙銀行休業

本日は始政滿十週年紀念當日のため各官廳銀行會社の一般は特種のものを除く外は一般休業せん

大庭司令官動靜

駐箚軍司令官大庭將軍は過般國境方面に出張引續き同地方守備隊の狀況視察中なるが十月中旬歸京第二十師團機動演習視察の筈なるが演習終了後或は內地に出張大演習を陪觀するに至るべしと

人事

▲大谷光瑞氏　三日午後七時大連發五日午後六時半入京の筈
▲木村益三氏（七六聯隊長）入京中の處二十九日發羅南へ
▲小川滲代治氏（關東報社理事）九日入京同夜東上
▲石黑平北第三部長　二十九日午後十一時發赴任
▲宮崎少佐（九年度朝鮮軌行官）南鮮に出張中の處一日歸京
▲鈴木大尉（同）北鮮に出張中の處一日歸京
▲須藤素氏（京畿道第一部長）兼て總督府醫院に入院中の處廿九日退院引籠中
▲高橋章之助氏（辯護士）大邱出張中の處廿九日夜歸城

株式界

內地株の弱氣が傳つて京株も賣急ぐ者が多く後場は之が爲に激落を見せたが小さい市場が破れんばかりの騷ぎを見せたことは近來にない事であつた其代り十七圓臺に入り十八圓八錢も落ちた、何でも滿洲問題との噂に何か材料は相變らず[illegible]

商況

三十日大阪入電前寄

大株　九一、〇〇　同新　九一、五〇　[illegible]

三十日東京入〇

[illegible]

京株市場出來値（三十日）

銘柄	前場	後場
京取 引寄	一八、九〇	一八、七〇
同	一八、八〇	一八、七〇
仁取	一六、三〇	[illegible]
同	一七、〇〇	[illegible]
鮮銀	三三、四〇	[illegible]
東拓	二六、一〇	[illegible]
朝紡	一三、三〇	[illegible]
鮮土	四八、五〇	[illegible]
同	二三、五〇	[illegible]
瓦電	六、〇〇	[illegible]
朝鐵	六、七〇	[illegible]
滿鐵	一〇三、八〇	[illegible]
同	一二三、八〇	[illegible]
朝紙	二六、〇〇	[illegible]

仁川期米特電

九月三十日前場　當限　中限　先限
一節　公安高止寄　[illegible]

出來高　六八〇株　累計　四五八〇

東京期米特電

九月三十日前場　當限　中限　先限
一節　二節　三節　四節　公安高止寄　[illegible]

九月三十日後場　當限　中限　先限　[illegible]

大阪期米特電

九月三十日前場　當限　中限　先限
中限止め　先限寄附　先限止め　[illegible]

九月三十日後場　當限　中節　先限
一節　二節　三節　四節　五節　六節　[illegible]



◇◇◇帝展出品（小笠原長幹伯の彫刻）◇◇◇

千手觀音見たやうに

口も八丁手も八丁

素晴らしい成績を擧げた亥角全南知事さん

籾や種牛や水產の改良　尊德流の副業も奬勵した

亥角仲藏氏―。此の人は全羅南道の知事さんで髭の少さい人だが、大變に優しい人、それでも總督府の保安課長時代に荷衣島問題が起つた際などは百五十人の憲兵や警官を連れて荷衣島征伐をした事もあれば鳥取縣の內務部長時代には郡農會の紛擾問題で十七ケ町村民を鎭撫した事も有る人で知々な

痛快な人物 である、知事の仲間ではマテ將來大に見込のある人と云つてよい此の亥角さんが全羅南道へ行つてからは知々面白い政治を始めた、既に世間でも知つての通り勸業研究會だなんて云ふものを拵へて大に殺負の競爭をやらせてゐるが、爾來之れは全道の郡や面の研究會や講習會の巡講を奬すであらうと云ふ評判である、それから又三十五萬圓の高等普通學校なんぞは寄附金まで拵へて建設すると云ふ有樣で大に朝鮮人共に氣受けが好い。ソレから勸業の方面にも大にカエブを入れて全南の木浦米は第一等だと大阪の「おますさかい商人」連中を驚かした位である群山や釜山の米よりも二三圓も高いと云ふ相場を示して各地方の農業家をアーレーと許り吊フンさせた、ソレには知々の苦心が要つた第一籾の乾燥に依る

籾の干燥 が不充分でないと云ふので今迄は韓買商人の手に入れてから干燥してゐたものを直接生產者の方で干燥させるやうに努力した、ソレ許りではイケないと云つて本府の方針に從ふて優良品種の選種を配つたり肥料や水利事業の改善に努力することは恰も亥角知事の小さい體が痩せるまでの苦心であつた今迄の肥料は堆肥主義であつたのであるがソレよりも大豆粕とか其他の金肥を使つた方が好く出來ると云ふ事だが何樣朝鮮人は實地に見せなければ承知しないので今度は一郡に五ケ所の模範稻田を作つた、ソレも道端の好く人の目に付く所に拵へて苗を井字植とし、ソレから甲の田は金肥、乙の田は堆肥、丙の田は金肥堆肥の併用と云ふ風にして稻の稔り工合を比較對照させて其上宣傳的の標札を掲げて『此の田は金肥豆粕二枚を施して作つたのです堆肥の田と比較して御覽なさい』てな事を書いて見せた、それだから大に鮮人連も文明式の方が矢張り好いと氣が付いて來たやうな按排。ソレのみならず全南の鮮人は亥角知事の文明利用の宣傳に依つて大に覺醒して來て例のシンガーミシンなんぞは日本人よりも鮮人の方が澤山使用するに至つた、今では白衣もおけではない大變りの好況である。次に撫でである亥角知事は、手を突き出して棉作を奬勵した統監府時代からの努力で今年は方に十五年。先覺の長官連の努力を繼承して

大々的奬勵 の結果大正三年度は作付一萬八千町步收穫千五百萬圓しか無かつたのが昨今では作付五萬一千七百町步四千五百八十萬斤の棉が取れるやうになつて亥角知事は目を細くしてよろこんだ。ソレから牛の話。大體朝鮮全道では保護牛規則なるものがある好い牛には保護料をやつてソレを大に足止めさせ、優良牛を得る手配としてゐるんだが何樣此な保護料を貰つたつて可合はないから百姓共は迷惑千萬。タネ牛の持主は大に牛の涎のやうな不平だら〱有樣、ソコで亥角さんは全道六百頭のタネ牛を全部殖產組合に買はせてやることにした。然し組合にはお金がない殖產銀行から金を借りて、五六年の內に元利を返して種牛は完全に

殖產組合に 殘ると云ふやうな名案を投げて且つ實行させた現在大いに成績が好いので、各道の知事さん連も亥角君の眞似をしやうと云ふやうな話しである次に又竹細工朝鮮全部の竹林は千六百町步有るんだが其の內の千三百町步は全南の所有である、ソレだから竹細工の講習會やなんか開いて大に以て竹、竹、竹と竹の世界、バスケツト、建築用なんかに大に應用さるに至つた、ソレ丈けではない百姓の副業をやるべしとあつて亥角さんは二百餘種になる叺の製造をやらせた、だから叺が年に二百二十八萬枚五十三萬圓と云ふお金が儲かるやうに成つたまたあるぞ、ソレ水產である、全南には

千八百の島 がある全道面積九百方里の內二百四十方里は島であり百八十萬の人口の內で四分の一は島民である知々多島海の政治は六ケ敷いから亥角さんも一通りの苦勞でない。巡航船と云ふ便利なものを拵へて大に保護に勤め魚を取る事を奬勵したお影で慶南の次に位する水產物が取れるやうになつた、海草海苔の養殖てな事も始めて、海草觀音樣の向を張つて見せるやら麗岩郡のカラスミの値を一遍に飛び上らせるやらして昨今では魚の年額四百五十七萬圓から五百萬圓加工水產物が二百七十萬圓となり今に一千萬圓にするのは、目をつぶつてる間だと云ふ有樣、税金なんぞも今では取立てないでもドシ〱納める不逞鮮人なんてなものもなく全南は今や

太平の御代 に成つて來た亥角知事は大にデモクして秘密にしてゐる

飽迄斉多を

死守せん

セ將軍亡命を否認

セミヨノフ軍より駐日代表部員に命ぜられたるアレキサンダー、コンスタン、ノノエツク騎兵中尉は二十九日朝關釜連絡船にて下關着直ちに東上せるが氏は語つて曰く「セミヨノフ將軍の鹿兒島亡命說を極力否認して曰く「セミヨノフ軍の勢力地に陥ち近く內地に亡命することは以ての外の噂なりセミヨノフ軍は飽く迄斉多を死守すべくウエルフネウジンスク及び[illegible]政府とは絶對に握手せざるべく近來西伯利各地に散在せる優勢なる部隊が我軍を援助しセミヨノフ將軍の麾下に馳せ參ずる者頗る多しと尚ほ氏に武器購入の使命を帶び居れりを（下關來電）

密陽事件の

爆彈押收

昌原郡東面に　共犯者も逮捕

總督府の出入自在なるに乘じ一般人に扮裝し齋藤總督水野政務總監を各其部室に襲ひ爆彈を以て殺害すると共に東拓京日等の建築物を破壞せんと企畫せるを京畿道第三部の探知する處となる去る七月十日爆彈三個と共に彼等を逮捕せる郭敬外八名の所謂密陽爆彈事件は當時彼等の供述に依り他に十三個の爆彈存在すること判明し爾來京畿道第三部に於ては一日も其手を緩めず搜査中なりしが去る二十日其所在判明し多數の共犯者と共に密陽を距たりたる慶尙南道昌原郡東面武店里姿群紙方に於て爆彈十三個の外短銃彈丸八十發火藥二包導火線六束と共に叺に入れ隱匿しあるを突止め全部押收せり

各所に

爆彈投擲

物騷な廣東

二十五日廣東軍政府本部建物にて爆彈破裂し守備兵死者一負傷者三名を出し東河岸通り及び西河岸通にも爆彈破裂し負傷者數名を出したり（廣東來電）

帝劇を見て

日光を見物し

歸途に着く朝鮮女教員團

朝鮮女教員團一行は二十八日午前八時より神田錦華尋常小學校女子高等師範學校同附屬小學校女子大學等を參觀し到る所大歡迎を受け午後四時半より帝劇の招待に依り同劇場にて折柄開演中の女優劇を見物し廿九日午前八時五十分上野驛發日光に向ひ東照宮中禪寺湖等を見物し一日午後九時歸京し直に東京驛に到り同十一日驛下關行列車にて歸鮮の途に就く（東京來電）

全鮮實業大會

十日より京城公會堂に開催

過般京城商業會議所より全鮮商業會議所並に府所在地以外は學校組合管理者等約八十ケ所に宛出席を要求せる朝鮮實業大會は豫定の如く來る十月十日より三日間京城公會堂に於て開催の筈なるが出席者の多くは[illegible]見れば初日早々大入滿員の盛況を呈するであらう。

滿洲の果樹熱

朝鮮の果樹界に影響あらん

最近滿洲の果樹界は實に猛烈な勢力を持つて來た滿鐵當局にては果樹の栽培を極力奬勵して瓦房店熊岳城得利寺附近一帶は林檎、梨、葡萄の畑が實に珍しく澤山來て其の成績は頗る好いので過般滿鐵では梨と林檎とを

畏き邊 へ獻納した位である試みたと云ふ有樣今や滿洲人士は悉く果樹熱に浮かされてゐる滿洲での普通の農業は迚も駄目だから唯一の滿洲果物の栽培に全力を注ぐに至つた、然も其の土地は非常に安價な税金で滿鐵が貸附けてある殊に果樹園の土地は一坪五厘宛りの年の借地料しか取らないのだから我れも我れもと果樹栽培に志して來た目下熊岳城を中心として梨、林檎、葡萄の年產額は約五萬であるが大正十年には十萬十一年に三十萬圓三四年後には

百萬圓 の果樹が出來るやうに成つて來た結果朝鮮の果樹界に取つては頗る強敵である目下の處では朝鮮の果物が滿洲西伯利に移出されてゐるけれどもモウ二三年中に滿洲果物が自給自足して尚ほ餘裕を生じ大連からは內地、支那へ、一方鐵路で朝鮮へ入つて來るだらうと云ふ狀況である何樣朝鮮としても此の滿洲果物に對抗する

大々的 計畫を樹つる必要がある要するに滿洲に於ける邦人の農事經營は全く此の果樹栽培を措いて他にないと云ふ有樣となつて來た

…[illegible]確定せる部分に依る鮮人側の出席者は極めて意外に出席者多く或は數に上らんも知るべからず假に三ケ所一名宛參加するも八十名に達し若し二人宛出席せば百六十名の多數に上ることゝなるべし

水原地方

稀有の大豐作

豐年祝を擧行

本年度に於ける水原地方は近來稀に見る大豐作にして數十年來の大豐作と稱せられたる大正七年度當時よりも約七八割方の增收の見込にして東拓移民は去る二十六日豐年豫祝祭を行ひたるが來月初旬に水原合農民を網羅せる盛大なる豐年祝祭りを擧行する筈なりと

華々しく

菊人形

本日正午より開園す

明治町空地に大規模に建設をした菊人形は愈本日より華々しく開園する事となつた東京生粹の人形師川崎氏の苦心の手になる各名優の似顏を並べて夕霧伊左衞門日蓮上人本能寺曾我の夜討文覺上人等

大仕掛

けの場面を觀せ殊に南山公園秋景色の場には京城の花と謳はるゝ伊達蔦小萬一若花奴鶴奴龜千代の各妓が實物其の儘の濃艶な姿を見せ大喝采五段返しは例に依つて雪月花の電氣應用大道具の廻轉に觀客をアツと云はしむる大舞臺に興趣して餘興場を設けて晝夜間斷なく西洋奇術落語等を以て一日の

清遊を

恣にする由で明日は早々から自動車に美妓を滿載して市中を練り步き無料入場券を撒布する筈である。既に鉤時節柄からの人氣頗るよい處を見れば初日早々大入滿員の盛況を[illegible]

府內の虎疫終熄

新患者發生なし

八月一日初發患者を鍾路署管內に發せし以來約二ケ月に亘り猛威を逞しふし累計患者無慮千五百名を出したる京城の虎疫も當局の防疫宜ろしきを得二十九日は龍山署管內より一名を出せしも三十日は一名の患者をも出さず殆ど終熄に近づきたるもの如し

自働電話の

呼出方を改造

銘製の白銅代用で

自働電話の呼出しに新鑄造の穴開き五錢白銅は從來の白銅より目方が輕い爲め呼び出すことが出來ぬので其不便なことも夥しいが東京遞信省では鉛製五錢白銅代用を急造して郵便局や切手賣捌所で發賣させたら從來の料金盜難も逃れるだらうと云ふので大急ぎで實施の計畫を樹てゝゐる（東京來電）

秋期消防演習

仁川東公園廣場で

仁川府常備消防隊並に豫備消防隊は恒例に依り十月二日午前十時より東公園廣場に於て秋期消防演習を行ひ署長の點檢其他消防方法の實施あり終つて宮町消防隊樓上に於て慰勞宴を開く可しと尙同日は第三部より係官小熊警部の臨檢ある筈なり萬一雨天の際は同樓上にて講演を行ふに止まる可しと（仁川）

八月は

犯罪も夏枯れ

寒くなると竊盜が殖る

大連民政署では同署創始以來の犯罪數を統計上に現したるが京城の八月は最も犯罪數少く本町署に就て見るに普通毎月四五百名の檢擧をなし來れるも僅に二百五十件にして內內地人百七十、鮮人七十一、支那人四其他二にして阿片取締令違反三の比例なるが最も多きは竊盜の百七十四件にして此內譯內地人百二十五鮮人四十支那人三なり之に次では詐欺二十八の內內地人一九、鮮人九橫領十三の內內地人八、鮮人五傷害八住居侵入五、有價證券僞造三、通貨僞造三、放火二、印章僞造二、贓物二賭博二誘拐一事、略取一遺棄一文書僞造一にして八月に於て犯罪數の少きは鮮人の生活が安易なるが爲にして漸次寒氣の襲來に至ると共に竊盜が激增の數を增し殊に多きを加ふべく主に住所不定の乞食風なる就中コソ泥棒の類に多きを加ふるが[illegible]當局の取締機關さへあれば之を未前に防遏し得べしと司法主任は語れり

一本宛盜んだ

朝日を箱に

入れて賣却

龍山元町二丁目長谷川雜貨店員朴鍾泰（二七）は同店煙草卸賣に從事中二十本入朝日包裝中より一々一本宛約八十本を拔き取り之れを空箱に入れて十二錢宛に賣却し居りし事發覺し龍山署に引致取調中なり

本町通り交通整理

時間變更

從來本町通り郵便局角より永樂町交叉點間にては諸車の通行を午後四時より十時迄と定めて禁止しゐたるが本一日よりは一時間を繰り上げて午後九時迄と變更せり

盜んだ金で

大盡風

犯人は前科三犯の曲者

本月二十三日午後一時頃家人の外出中、奧座敷簞笥に藏め置きし現金一千圓（十圓紙幣百枚）及十六形兩蓋金時計一個（價格百五十圓）を竊取されたりと仁川府山手町三丁目取引所仲買人平田直蓮氏より

盜難屆 あり直に手配に及びたるが越えて二十五日の夜手角里一六飲食店村長楠方へ兩名の鮮人來り盛に大盡風を吹かしたる揚句先頃預けた八百圓餘の金を返しくれと言ふので[illegible]

國々な

時計修理料金

京城時計商組合にては曩に規約を設け修繕又は洗ひ料金を一定して各組合店に配布せるは本年三月の好況當時なりしに財界不況の今日と雖も未だ改正せず假へば置時計の油引きの如き一個一圓五十錢を標準とせるに拘らず店に依りては五六十錢の半價にも及ばざる低價を以て引受け居る者もあり亦一方規定の一圓五十錢を要求する者ある等甚ひく〱の行動を取り組合規約は全く反古に等しきが之め料金を定め斷く方互に便利なるべしと云ふ者あり

眉間の掠傷一萬圓也

たけ受のしよ小

其の三

世話になつた以外に

頭の上らぬ弱點

が千登世にはある

千登世には前回記載した樣な同情すべき點は確にあるが靜養軒に對して頭の上らぬ點の存する事は動かすべからざる理由であつて靜養軒として「田中が死ねば己れが死ぬのも同じ事だ」と迄言つて居るのを見ても普通一遍の面倒の見方でない事は判明する筈である千登世に言はせれば「唯に連帶して貰つた丈で現金の貸借は一切ない」と憮然言ひ切つて居るが夫れは自分獨りでの空元氣であつて事實は全く之れに反するものが

表開すれ ば其處に現はれて來るに違ひない今一步突込んで之れを詰問する人があるとすれば五千圓の連帶は奈何なつたかと凹をつけたと言ふ事の謎點はあるに對する事があればこそ靜養軒も言ふ事も言はずに我慢して居ると言ふ一つの見てやらねばならぬ點もある。以上に記載した如く靜養軒は

唯小よ

手を付け たと言ふ事の弱點はあり[illegible]

黑白を爭 ふのを互に避け合はねばならぬ義理である。千登世の妹小萬が大和家の抱妓であつて當時千登世を超えて上げなに就て靜養軒が力になつて居たがフト想ひ浮んだのは右の小萬を守立てゝ千登世の看板を上げやうと云ふ策である。小萬には當時二千餘圓の前借があり且つ相當の旅行費として線香も上げて居たが突然小萬は大和家を去るに及んで千登世の看板は上がつたのである。然し乍ら茲に千登世の主人に一つの問題が持ち上がつた

金時計

を所持し居るのみならず言語不揃ひなる爲め仁川署へ同行したるが該金時計は前記平田氏の盜難品なりしに依り犯人と判明したるが同人は本年七月仁川府分監を出獄せしばかりの外里相根（三〇）前科三犯の曲者にて平田氏方にて竊取したる金錢を以て洋服帽子靴を買込み贓品の時計をヒラめかし俄紳士となりすましたる上、前記の酒屋外四五軒を飲み廻り中、フト見知り越しの男なる石田某（三〇）に出會ひ兩人にてメートルを揚げ泥醉し所持の金錢を石に預けし者なるが是と石とは數年前來港々內にて

人足を

働きし折の知合のみにて姓名をも知らざる間柄なるに依り石は是が斯かる大金を所持し居るを見て的切り不正の物と推定せし爲め預かりし物を其儘に納め込んで前記の如く預けた預からぬとの爭論を起したる事分明し、村谷織物店に出張したるが其石の早速の働き居りし本町署は既に兩三日前より飲み居ると云ふ事にて去らば直に其住宅を襲ひし所幸ひ他に高飛せんと企み居りし際とて難なく逮捕し身體檢查を行ひしに閃々しくも

內懷に

現金八百二十圓を所持し居り該有無を云はせず逮捕せしが同人は[illegible]署にて拘引目下取調中なり因に仁川警察署にては小年田署長就任以來斯る人强盜の如き大物は悉く短日に檢擧し居り署員一同頗る得意の色あるは無理ならぬ事と云ふべし（仁川）

小人は

玉を抱いて罪あり

後備曹長の出來心

某生命保險會社仁川代理店集金人某は十月十三日頃より府內各被保險人數の保險金千二百圓を受領せしを不圖惡心を起し大半を遊興費消せし外遊廓に出入し豪遊を極め居る爲め其の筋に注目され居りし所數日前松山樓に登樓遊興中を任意本署に同行目下取調中なるが同人は後備陸軍步兵曹長にて年金百五十圓を頂き居る者なりといふ

記念柔道大會

武德館支部二週年記念柔道大會朝鮮支部は來る十月十日午後一時より京城中學校道場に於て同支部創立二週年記念柔道大會を開催する筈にて當日は在京各團體は勿論地方よりも選手多數參加すべしと

フ井ルム

▼大正館

男の熱血（下）

原名「アブテツドソーン」

競技が始まると日頃射擊自慢のヘンリーは標的の糸を七本迄切つて觀衆の鼻を驚かして女王マクやろうと近寄らうとした時、突如之はないとしても「少しばかりの腕前が心得ては」[illegible]

（三）味（線）箱

▲美人投票に七等に入選した美奴三味線で彼處此處から御声出度いのだ」とブツ〱と云つて居つて終つたが之を聞いた或藝妓「ほんとに此頃の若い妓は生意氣だ、あれでも自分は一等になる積りだつたのかしら」とやつたので一座の者は[illegible]「まあそうだつたら……」[illegible]

臭い役人

總督府の役人の中にヴアイオリンの田中さんと言ふてヴアイオリンを抱いて盛に各料理店を飲み廻り、幾多の藝者を掃き捨つて居るがの人柄から言ふと高等官らしくも無い、屆員位にしか見えない、何れにしても毎月三百圓以上は料理屋へ[illegible]

三面拔萃帖

●金相珠と云ふ殖銀麗水支店より二萬七千五百圓を詐欺して逃げた男は福岡で逮捕された

●女郎に迷ふた職工が函館で盜ばたらイラズを嚥んで一人心中をやつたが此の世の名殘りが活動見物

●鮨成金も平和克復以來物價低落して海一つ隔てた米國でも落寞の狀態で秋の夕暮とはお淋しや

●光州の現職巡査が家庭の不和から自殺したが是と云ふ證據はないが多分畢竟水だらうと

●入船町で鮮人兩名が十八の娘に戲れて仲裁した男を袋叩きで毆り

●女郎屋の主人と稱する五十男大阪で十三名の若い女を一室に監禁中を發見され目下取調中

●自働電話の呼出しに新鑄造の五錢白銅は駄目なので錫製の代用を急造だとドーカ（錢箱）ならう

●支那飢民に郵船が六萬を支出すると死なぬ內に早くやれ

●其他も會同情支那人贈るよりも寄金

●成興署兵分隊では俄然犯人を捕り押の演習をやつてゐる御時節柄面白い思ひつき

論落の女カチユーシヤお葉（十三）

思ひがけない

芝田との再會

「世間は廣い樣でも狹いものだ」と薄氣味惡るい口邊の笑

お葉は始めて自分を顧みる氣が起つた。そして寂しい的度もない自分の行末が淡々と果敢なまれたのである。神戶の新開地（湊川）藥藥館前の櫻バーに再びエプロンの女として一御葉が比較的眞面目な生活に入つたのも之が爲めであつた。當時御葉は口癖の樣に怒ふ云つてゐる。

「誰か、眞實の妾を了解して呉れる男があつたなら、妾は生れ變つた女となつて其人の爲に妾の總てを捧げるわ」と。御葉は其頃からよく酒を飲んだ

狂烈な醉 はいつか御葉の寂寞を忘れさせる強い力を持つてゐた。

「酒！――酒！。」御葉は毎夜の如く酒を飲んだのである。御葉の淫蕩な姿は再び神戶のバーを風靡して「カチユーシヤ御葉」の名は復活した。御葉は再び昔に返つて周圍に群がり來る若い男の間に立つて女王の樣な輝きと誇りを恣にした。是の事である。それは平常に戾り今では眞面目な月給生活に入つて居た。

御葉の前にヌツと現れた一人の男があつた。

「あらツ」と驚いたが遲かつた。男は三年前に

下谷の家 に置き去つた芝田であつたのである。「世間は廣い樣で狹いものだ」と芝田はニヤリと薄氣味惡く笑を口邊に浮べて語る處に依ると大村と言ふお葉に出し拔かれた芝田は一時非常に激昂して何處までも兩人を探し出して殺してやらうかと迄思ひつめてゐたが百何十圓の手付け金を着服した抱主に對する傷つきが納まらなくなり兩人の家出した翌日芝田もコソ〱と東京を逃して一時九州を彷徨して一年程經つて、熱の醒めた頃漂然此神戶に[illegible]

なく客足の寂しい黃昏で御葉は他の女給達と一緒に風呂から歸つて何氣なくカーテンを捲つて音もなく降り注ぐ秋雨の街を眺めてゐる其眼の前に

小栗判官照手姫

「八十五」 旭亭櫻山口演

眼闊々たる六尺男

此の比前へ飛出し、資くに合田の鯛へと表面の一本を與れて太郎の鑓を取り捨いて左人出る奴を／＼打つて捨てましたが、七人目に出た高村左治照といふ者の爲にとう／＼後れを取りましたから、直樣後藤大八郎が代つて出で五人まで打込んで、益々今度は細井村へ御神體を取戻す事が出來るぞと村人一同喜んで居りますと、又も一人宮澤村の方から出ました者は、身の丈六尺以上、精悍一面に生じ眼闊々として人を射るばかり見るから豪傑らしい人物六尺の棒を引提げて、徐々其れへ出て來た○「先刻から御見受申したが、貴公に某許等の御腕前恐れ入つた、我等代つて御對手致す」といふのを見れば、是れぞ他ならぬ小栗十勇士の一人笠間八郎致忠でございます、後藤兄弟吃驚して 兵「オ、其許は笠間八郎ではないか、何うして此所へ來た」八「イヤ後藤、挨拶は後の事、先づ勝負を致さう」兵「勝負といつて兄弟の間柄何方が勝つても詰らん是れはどうも困つた事が出來たな」八「イヤ／＼斯ういふ場合に兄弟か何にもない、お前方は細井村から頼まれだらう我等は宮澤村から頼まれて此所へ來たのだから、互に頼まれた丈の事を果し、而して後の話に致さう」兵「其れも左うかな」と茲で大八郎と笠間八郎との立合、若し大八後れを取らば、代つて兵助が出て其れを打留めをいふ事に話が纏まつた、スルと神官を初め兩村の重立つたる者此の樣子を見て一つに集まり「見受る處彼の方々は兄弟分のやうだが、互に頼まれた者だから勝負を着けやうといふのだ、誠に／＼斯んな事をして爭つても仕方がないから、寧そ兩村の村境に社を立つて、茲に合祀をしたら宜からう、假令他の土地から來た武藝者とはいへ、兄弟寄合つて勝負を爭ふ、是れも總てわれ／＼の村の爲めとあつては神樣に對して村に相濟まない、是れから兩村相一致して睦まじく交際ふ事にしたら好からう」といふ話が纏まりまして、其の旨を笠間八郎、後藤兄弟に話をすると「お前の方で左樣いふ事に示談が附けば誠に結構だ」と終に勝負なしで一同退散致し、兩人は笠間と一緒に細井村の七郎左衛門方へ戻つて參りました、大八の話を聞くと 大「實は三州矢矧の戰ひで、一同離々散々になつて終つたから私は一人で中國へ渡ると、播州姫路に於て怪しき人物に出遇ひ、不思議の術を以て身體を錬められた、段々聞くと對手の人物は、土佐の天狗山といふ所で仙人から合氣の術といふを授けられたといふ、其れゆゑ私も仙人に就て其の術を學びたく心得、當國へ渡つて天狗山を尋ね廻り、前夜圖らず宮澤村の名主の家へ泊つた處、是々の事で武藝の爭ひをする、當年は細井村に强い者が來たといふからどうか此村の爲に仕合に出て異れと頼まれ、依つて其の場へ行つて見れば、何ぞ圖らん細井村から出た豪傑と云ふは、御身等の事であつた、誠に意外の所で對面を致し、此上の喜びはない」と互に無事を祝し合ひ、扨て八郎は「私は是れから今話した天狗山へ登つて來るから、御身達は暫らく茲に逗留して居て貰ひたい、其れから連れ立つて旅に出るとするから……」兵「其れは誠に結構な事だが併し八郎、互に今大切の體であるから、然ういふ山へ登つて萬一過誤があつてはならんぞ、それよりは思ひ留まつて、之より我々と共に御主君を初め對忠の行衞を探ねたら何うだ」



演藝案内

日本活寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 **大正館**
當る十月一日より秋季特別大興行
●實寫「歐米大觀」一尺 ●喜劇「トン君の醉漢」一尺
舊劇「龍神灘右エ門」全五卷 尾上松之助の大活躍
源家忠臣朝比奈三郎の臣尋賀太郎は世を忍ぶ假名を用ひ主家の恨みを晴す忠臣美談
米國ラスキー會社傑作 正劇「皮の鞭」全五卷
名優マリー・ドロ孃エリオット・デクスター氏主役の泰西哀話
山本、東、菊野一派出演 故郷川春葉先生大作 新派悲劇「生さぬ仲」前篇全七卷
日活十大悲劇の一にして「不如歸」と並稱せらるゝ新派の代表劇にて背景其他は悉く原作の妙味を具體的に表示すべく新たある撮影術に依り遺憾なく完成せる點は過去に上場せるものゝ比に非ず
入場料特に普通
毎月一日・十五日・日曜日・祭日晝夜開館

本町一丁目 電話五九七番 日活直營 **喜樂館**
當る十月一日より新三大映畫提供
○實寫 奇なる植物 ○滑稽 新馬鹿の銀行員
日活向島新派最近の傑作 新派悲劇「松の操」全五卷
色とり／＼の繪筆を使ふ畫家と三筋の絲に世を渡る藝者桃香とが松の操の幾千代かけて變らぬ戀も憎い嵐に結まれて怨めしくも儚なく消ゆる悲劇の命
米國ウイリアム・ハートプロダクション作 人情劇「アラスカの地獄丈」全五卷
快漢エス・ハート氏の演ずる同優特意の西部劇で輕快なる優の動作巧みな表情に映畫は光り輝くやうに見え弁說明主任は石田旭花講演です
日活關西派第一部新撮影 尾上松之助得意の武術劇 ○日本一の名優家 舊劇「槍の權三」全八卷
槍の權三はいよ男、油壺から出たよな男、御前試合が意趣の種叔父を討たれし無念さ千辛萬苦の末高田又兵エ關口彌太郎の助太刀を得て刑場に降る血の雨目川に本懷を遂げる大團員忠興味橫溢せる武士道劇

國際活映會社特約 黃金町 電話二六六 三三七 **黃金館**
當る九月廿八日より實寫三大寫眞上場一週二回寫眞替へ本映畫四日間限り
▲實寫 戰時畫報 ▲喜劇 花婿の間違ひ
米國パラルタ社作 カスリン、ノリス夫人傑作 泰西道德劇「神の惡戲」全五卷
名優エラ・ホール孃出演 說明者 泉 春風 南鄕公利
薄命なる婦人の半生？轉々として飜り行く果て運命の暗き影は何所まで彼女をして苦めるや
國際活映會社最新撮影 舊劇「丹波の猿神」全五卷
世界的澤村四郎五郎市川姉十郎一派總選撰寫眞 金二十二篇四十四卷の內 第九、十、十一、十二篇「名金」八卷上場
自動車の怪人は善か惡か殺も掠刑なる殺人の嫌疑はキチー孃にかゝる「グラホ〔ン〕」國王の陰謀と快漢ロロー氏愈々大努力大奮鬪？益々佳境に入り實に白熱的大好評四日間限り日延なし
九月廿七日（月曜日）正六時 十月十五日夜間開館

大正九年十月二三兩日各午後六時開場
本町二丁目 **壽館**
筑前琵琶 演奏大會 主催 京城旭會

朝鮮郵船

◉元山出帆（取扱店 朝鮮郵船會社）
大阪行 十月五日 平安丸
下關行 十月五日 會寧丸
江原道行 十月四日 濟州丸
敦賀行 十月五日 立神丸
清津行 十月五日 立神丸
雄基行 十月十五日 會寧丸
浦潮行 十月五日 清津丸

◉釜山出帆（取扱店 大池回漕店）
大阪行 十月八日 清津丸
大阪行 十月十五日 江華丸
下關行 十月八日 會寧丸
新義州行 十月七日 雄基丸
北鮮行 十月七日 越後丸
浦潮行 十月五日 清津丸
鬱陵島行 十月五日 松海丸
江原道行 十月三日 開城丸
濟州島行 十月二日 昌平丸
木浦行 十月一日 昌原丸

◉木浦出帆（取扱店 山野回漕部）
大阪行 十月六日 新義州丸
釜山行 十月一日 濟州丸
濟州島行 十月六日 公州丸
多島海行 十月一日 公州丸
仁川行 十月二日 全州丸
新義州行 十月八日 雄基丸

◉仁川出帆（取扱店 堀回漕部）
大阪行 十月四日 新義州丸
新義州行 十月十二日 雄基丸
木浦行 十月一日 全州丸
海州行 十月 休航
鎭南浦行 十月四日 敦賀丸
青島行 十月三日 江原丸

朝鮮郵船株式會社
釜山支店 電話一八四番
元山出張所 電話
京城取扱店 驛前 松原運送店
○當社ハ滿鐵、日本郵船會社、大阪商船會社ト連帶運送ノ便有之候